

第6回 ころがほっとする講演会



令和3年から開始し6回目となった今回、当事者・家族・支援者など、様々な方々にころがほっとする講演会と、パネルディスカッションをお届けします。

2024年
7/27^土
参加無料

13:00～15:35
(開場12:30)

◎開催場所
鳥栖市民文化会館
小ホール
(佐賀県鳥栖市宿町807-17)

当事者・家族・支援者・
関心のある方など
どなたでも参加できます！

講演①

ひきこもりの真実～就労より自立より大切なこと～
一般社団法人ひきこもりUX会議 代表理事 林 恭子氏

講演②

「あなた」の声を聴けるように
～フラットなお付き合いに繋げていくための覚書～
立教大学 社会学部 教授 石川 良子氏

パネルディスカッション

パネラー：林 恭子氏、石川 良子氏
コーディネーター：小松 美佳氏
(佐賀県社会福祉協議会まちづくり課 課長)



- ◎申込方法 右のQRコード、または電話(0942-85-3555)にてお申込みください。
- ◎参加費 無料 定員 200名 ※当日参加も可能ですが、定員に達した場合は入場をお断りすることがあります。
- ◎主催 鳥栖市社会福祉協議会 (佐賀県鳥栖市元町1228-1 TEL 0942-85-3555)
- ◎後援 鳥栖市、鳥栖市教育委員会



QRコードからも、
参加申込が出来ます

～講演者からのメッセージ～

私たちが出会ったのは今からおよそ25年前、東京のとある会でした。当事者と研究者という立場の違いをはじめ、さまざまな違いのある2人ですが、それでも同じ方向を見ている同志・仲間であると今は言えます。「今は」…そう、最初からこのように付き合っていたわけではありません。四半世紀近くもの長い年月をかけて育ち上がった関係性です。

当日は、そんな私たちの歴史も感じていただけたらと思います。

講師プロフィール

林 恭子 氏

高校2年で不登校、その後30代まで断続的にひきこもる。信頼できる精神科医や同じような経験をした仲間達と出会い少しずつ自分を取り戻す。2012年から、「自分たちのことは自分たちで伝えよう」と“当事者発信”を開始している。

東京都ひきこもりに係る支援協議会委員／就職氷河期世代支援の推進に向けた全国プラットフォーム議員／東久留米市男女平等推進市民会議議員／厚生労働省「ひきこもり地域支援センター職員等への人材養成研修事業」委員等。著書に『ひきこもりの真実―就労より自立より大切なこと』（ちくま新書）、『「ひきこもり」の30年を振り返る』（岩波ブックレット）他。

石川 良子 氏

1977年神奈川県生まれ。松山大学人文学部教授を経て、2023年9月より立教大学社会学部教授。専攻は社会学・ライフストーリー研究。主な著書に、『ひきこもりの〈ゴール〉』（青弓社ライブラリー）、『「ひきこもり」から考える』（ちくま新書）、共編著に『ライフストーリー研究に何ができるか』（新曜社）、『ひきこもりと家族の社会学』（世界思想社）、共著に『「ひきこもり」の30年を振り返る』（岩波ブックレット）などがある。

小松 美佳 氏

市町社協活動・運営支援、災害時の被災者支援活動、ボランティア活動や福祉教育の推進、民生委員・児童委員活動支援等、地域福祉全般の業務を担当。